

身体的拘束の最小化に関する指針

当院は、身体的拘束が高齢者の尊厳を傷つけ、身体機能の低下をもたらす危険性があることを深く認識し、全ての人の人格が尊重されたケアを実現するため、身体的拘束の最小化に取り組んでいます。

1. 私たちは身体的拘束とは何かを常に考え、拘束のないケアの実践に努めます
2. 私たちは身体的拘束を必要としない環境作りを考え、改善していくよう努めます
3. 私たちは医療技術の向上と研究に努め、全職員の意識向上を図るよう努めます
4. 私たちは常に開かれた医療を目指します

身体的拘束実施率（2025年度） 4.70%

※身体的拘束の対象となる行為

- ・ ミトン型の手袋の使用
- ・ 介護服（つなぎ）の着用
- ・ 抑制帯を用い、ベッドや車いすに体幹や四肢を固定する
- ・ 自分の意志で開くことのできない居室等への隔離



～急性期から介護まで～ 地域医療の中核病院

KKR東海病院